



11平成21年11月17日

学校自己評価特集号

# 学校だより

金沢市立三馬小学校

## スクールフォーラムから(10/21)

10月31日(土)に、今年度2回目のスクールフォーラムを行いました。学校長より、全国学力・学習状況調査の結果にあらわれた三馬っ子の姿をお知らせさせていただきました。学校からお知らせした概要は次の通りです。

### 1 学力調査から

県の学力調査は、4年生(国語、算数)6年生(社会、理科)とも通過率(正解率)が県平均よりも良い結果でした。特に、6年生は良い成績でした。

また、6年生の全国学力調査(国語、算数)も、通過率が国及び県の平均よりもかなり良い結果でした。

#### 石川県学力調査の結果

学年	教科	本校	県	考察
四年	国語	74.3	67.1	かなり良いといえる
	算数	74.5	74.0	同じ程度である
六年	社会	79.7	71.8	かなり良いといえる
	理科	75.2	72.3	やや良いといえる

#### 全国学力・学習状況調査の結果

教科	領域	本校	県	全国	考察
国語	知識	77.6	72.7	69.9	かなり良いといえる
	活用	55.3	53.4	50.5	かなり良いといえる
算数	知識	84.9	80.7	78.7	良いといえる
	活用	61.5	57.5	54.8	かなり良いといえる

調査結果から、次のことが各教科の課題として明らかになりました。

国語科では、「接続語を使って一文を二分に分けて書くこと」などの基礎と、「調べる内容を見通して、必要な事柄を推測すること」などの活用力に課題が観られました。

算数科では、「数直線から数を読み取ることができること」などの基礎と、「情報を整理整頓し、筋道を立てて考え、示された判断が正しい理由を記述すること」などの活用力に課題が見られました。

なお、これらの調査は、前学年の内容の調査であり、現学年の学習状況を把握したものではありません。そこで、12月中に全学年で学力テストで行い、学習の定着が不足の部分进行を明らかにするとともに、現学年の学習は今年度中にマスターするようにしたいと考えています。

### 2 学習状況の結果から

- (1) 「学習に対する関心・意欲・態度」で優れていること
  - ・文章を読むとき段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいる。
  - ・算数の勉強が好きで、算数の勉強は大切であると思っている。
- (2) 「家庭学習」で優れていること
  - ・学校の授業時間以外に普段(平日)行う1日あたりの学習時間が多い。
  - ・学校や図書館で普段行う1日あたりの読書時間が多い。
- (3) 「基本的な生活習慣」で優れていること
  - ・毎日同じくらいの時刻に起きている。
  - ・学校で友達と会うのは楽しいと思う。
- (4) 「家庭でのコミュニケーション」で課題であること
  - ・家の人と学校の出来事について話しをすることが少ない。
  - ・家の手伝いをすることが少ない。
- (5) 「自尊意識」で優れていること
  - ・将来の夢や目標を持っていること。
  - ・課題であること
  - ・自分には良いところがあると思う子が少ないこと。
- (6) 「規範意識」で優れていること
  - ・学校の決まりを守ること。
  - ・友達との約束を守っていること。
- (7) 「運動に対する意識」で優れていること
  - ・スポーツをしたり、観たりすること。
- (8) 「地域とのつながりに対する意識」で課題であること
  - ・今住んでいる地域の歴史や自然についての関心が多い子が少ないこと。

3 学校自己評価から

学校では、教職員が自分たちの教育活動について、年2回、自己評価を行っています。

7月に行った学校自己評価の結果は、ほとんど90%を越えましたが、次の項目で課題が明らかになりました。そこで、それぞれについて改善の取組を実施しています。

(1) 学習面

「基礎学力『読む・書く・話す・聞く』が身についてきた。」80%

「算数の基本的な『理解力と計算力』が身についてきた。」84%

定着の弱いところを洗い出し、地道な繰り返しにより、定着を図る。

「課題解決に必要な思考力・判断力・表現力が身についてきた。」71%

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させた上で、自分たちで課題を見つけ解決する。

課題解決型の授業を行い、思考力・判断力・表現力を身につけさせる。

(2) 生徒指導面

「基本的な生活習慣（あいさつ等）が身についている。」86%

「ルールを理解し、実践する児童が増えたか。」86%

口で言うだけでなく、ソーシャルスキルトレーニングなどで、具体的に体験させ、気持ちの良いあいさつなどを実感させ、継続させる。

(3) 児童による授業のふりかえり

子ども達に、授業についてのふりかえりをしてもらいました。

12の項目の内、8項目で80%が「できている」という回答でしたが、4つの項目で課題が見られました。そこで、次のように取組を行っています。

「何を考えるか、何をすればいいのかがはっきりしている。」77%

発問や助言、指示を明確に短く言う。1度にいくつもの発問をしていることがあるので。

「授業でがんばったときほめてくれる。」73%

できて当たり前と思わず、当たり前でできていることを褒める。

「総合では勉強の仕方がわかり、進んで勉強できた。」78%

総合的な学習を何のためにするのか、どんなふうに学習していけばいいのか、目的と手順を子ども達にに応じて指導する。

「国語や算数で勉強したことを、総合でも活かすことができた。」66%

各教科の学習の中で、総合的な学習で学習したことの内容が何で、どこで、どのように活かせるかを具体的に教える。

(4) 保護者の皆様からのアンケートについて

保護者の皆様には、アンケートにご協力ありがとうございました。

結果は、下記の通りです。多くの点で学校の取り組みについて高く評価をいただいているように思います。中でも、94%の保護者の皆様から、「子ども達は学校へ楽しく通っている」と答えていただきました。

しかし、学校では、6%の保護者の方が、子ども達は学校へ楽しく通っていないと考えていらっしゃることを重く受け止めています。そして、今後とも、子ども達を外から見える姿ばかりでなく内面からも深く理解し、一人ひとりが自分はこの学級で大事な存在なのだと感じる、存在感のある学校・学級づくりに努めてまいります。

番号	項目	A その通り	B だいたい	C 少し違う	D そうでない	? わからない
1	子ども達は学校へ行くことを楽しく思っていて通っている。	49%	46%	4%	1%	1%
2	子ども達に気持ちのよいあいさつをする生活習慣がついている。	19%	63%	14%	2%	2%
3	子ども達に思いやりの心が育まれている。	24%	61%	9%	1%	5%
4	学校は、教育方針や学校生活の様子を分かりやすく伝えている。	17%	63%	10%	2%	7%
5	学校は、子どもに基礎的な学力がつくよう努力している。	27%	62%	4%	2%	6%
6	学校は、命の大切さや安全、健康についてよく指導している。	26%	57%	5%	1%	12%
7	学校は、子どもをよく理解して学習や生活の指導にあたっている。	17%	58%	10%	2%	14%
8	学校は、子ども達の人間関係づくりに配慮し、適切に指導している。	13%	55%	8%	2%	21%
9	学校は、子どもの間違った行動には厳しく指導している。	22%	56%	6%	2%	14%
10	学校は、保護者や地域の人達と連絡や意志疎通の機会を多く持っている。	18%	54%	10%	3%	15%
11	先生は、めあてがはっきり分かる授業をしている。	26%	54%	5%	1%	14%
12	先生は、子ども達に分かりやすい話し方をしている。	33%	51%	6%	2%	8%
13	先生は、子ども達に分かりやすく楽しい授業を工夫している。	31%	47%	6%	2%	14%
14	先生は、子どものことについて相談がしやすく、適切に応じている。	25%	46%	7%	4%	18%